

北海道テレビ放送 株式会社 (札幌市)

本社移転をきっかけに 長期的な視点で省エネ設備を導入

取組の概要

同社では、照明、トイレ、パソコンのこまめなスイッチオフや階段の2アップ3ダウン運動の推奨など日常的な省エネ活動を続けてきたが、2018年の本社移転にあたり、省エネ性能の高いビルを移転先として選定し、全体的に省エネ対応の照明・空調設備を採用した。10～20年の長期間のランニングコストを試算し導入に踏み切ったところ、エネルギー使用量が減少しており、省エネ、CO2排出量の削減効果が現れている。

また、照明や空調の自動制御システムが導入されたことによって、移転後には従業員一人一人に労力や負担をかけることなく、結果として無意識的な省エネにもつながった。

◎明るさや人の存在を検知する照明システム

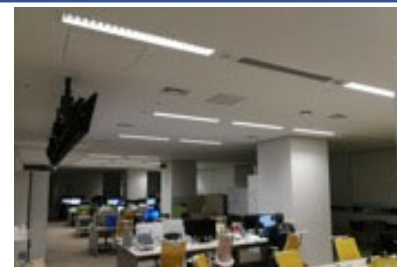
日中は室内の明るさに合わせて照明を調光し、人の動きや状態を検知するセンサで照明を制御する、省エネ自動環境制御システム「T-Zone Saver」を導入。廊下や階段なども自動で点灯・消灯を行うことで、省エネと快適さを両立している。

◎ビル全体に寒冷地を活かした空調を採用

同社が入居しているさっぽろ創成スクエアには株式会社北海道熱供給公社のエネルギーセンターが設置されており、寒冷地の特性を活かしたDHC(地域冷暖房)方式の省エネ空調システムを採用している。同社はエネルギー効率のよい加湿用蒸気や暖房用温水、冷房用冷水の供給を受けることで、省エネを実現している。

◎3つあるスタジオの照明をすべてLED化

スタジオでは数多くの照明を使用しているが、移転後はハロゲンランプの照明をすべてLEDに変更。余計な発熱もなくなり、冷房負荷が軽減したことで電力使用量が大幅に削減された。



▲人検知センサで照明を自動制御



▲ビル全体でDHC方式空調を導入



▲スタジオ照明をLED化

節電・省エネ効果

	エネルギー使用量 (原油換算kl)	使用電力量 (千kWh)
取組前	1,749	5,276
取組後	1,382	4,410
削減率	20.9%	16.4%

2018年度と2021年度の比較

💡ここもポイント

- ・本社移転前からスイッチオフの励行、エレベーターの効率運用、クールビズ実施など意識啓発を継続。北海道の民放局で初めて7年連続でSクラス事業者(省エネ優良事業者)評価を受けるなど、積極的な取組を実施してきた。
- ・移転後は、各部屋において温度を感知する個別空調を活用。季節ごとの温度設定を出勤スケジュールに合わせてタイマーで管理している。



▲2アップ3ダウン推奨のポスター

企業概要

北海道テレビ放送株式会社

- 所在地:札幌市中央区北1条西1丁目6番地
- 代表者名:代表取締役社長 寺内達郎
- 業種:放送・情報・広告(民間放送・テレビ放送局)
- 問い合わせ先:HTB広報お客様センター
- 電話番号:011-233-6600
- URL:<http://www.htb.co.jp/>

